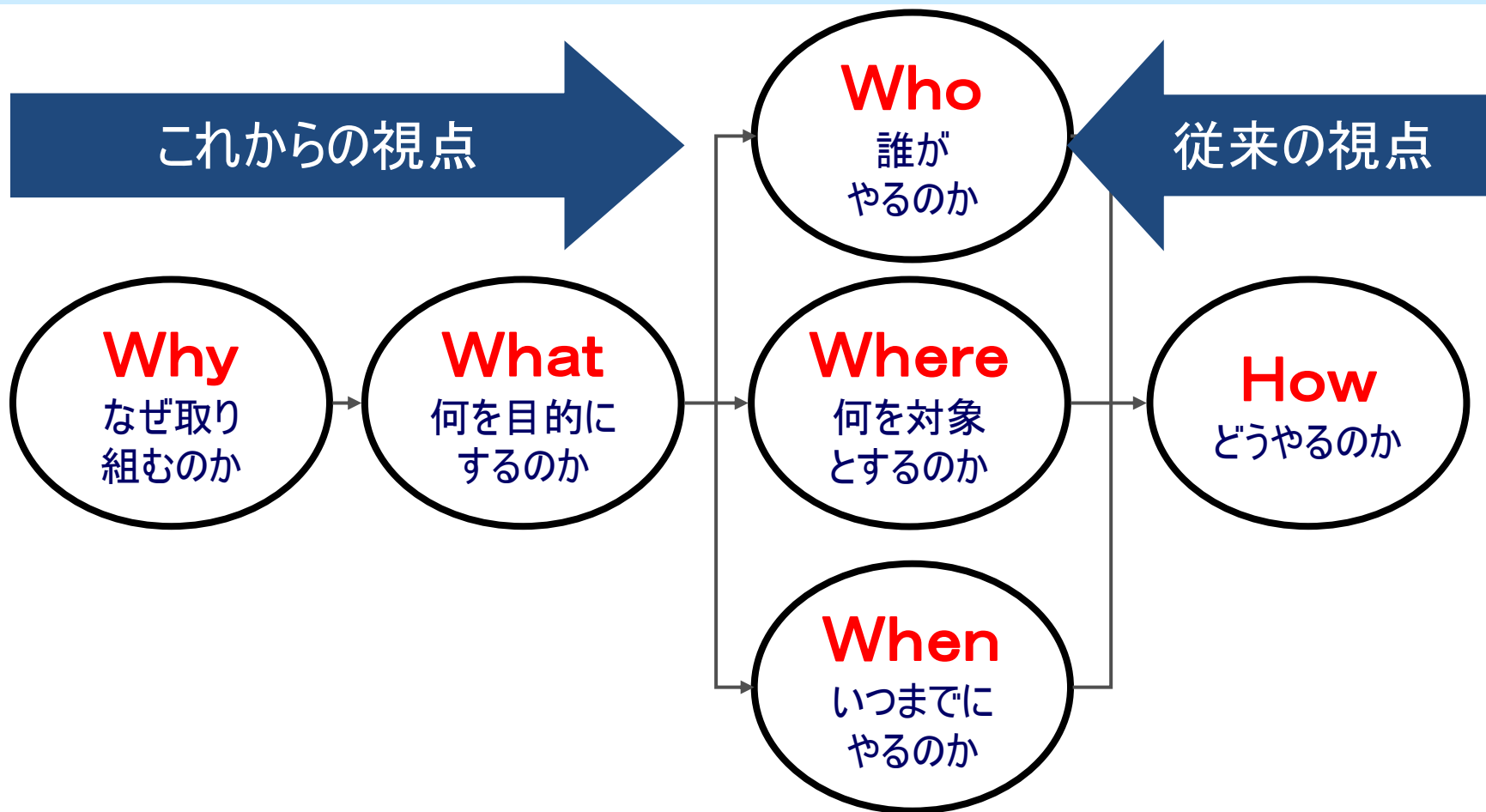


第12回 まとめ
～中小企業に今後必要な取り組み～

取り組みに必要な視点

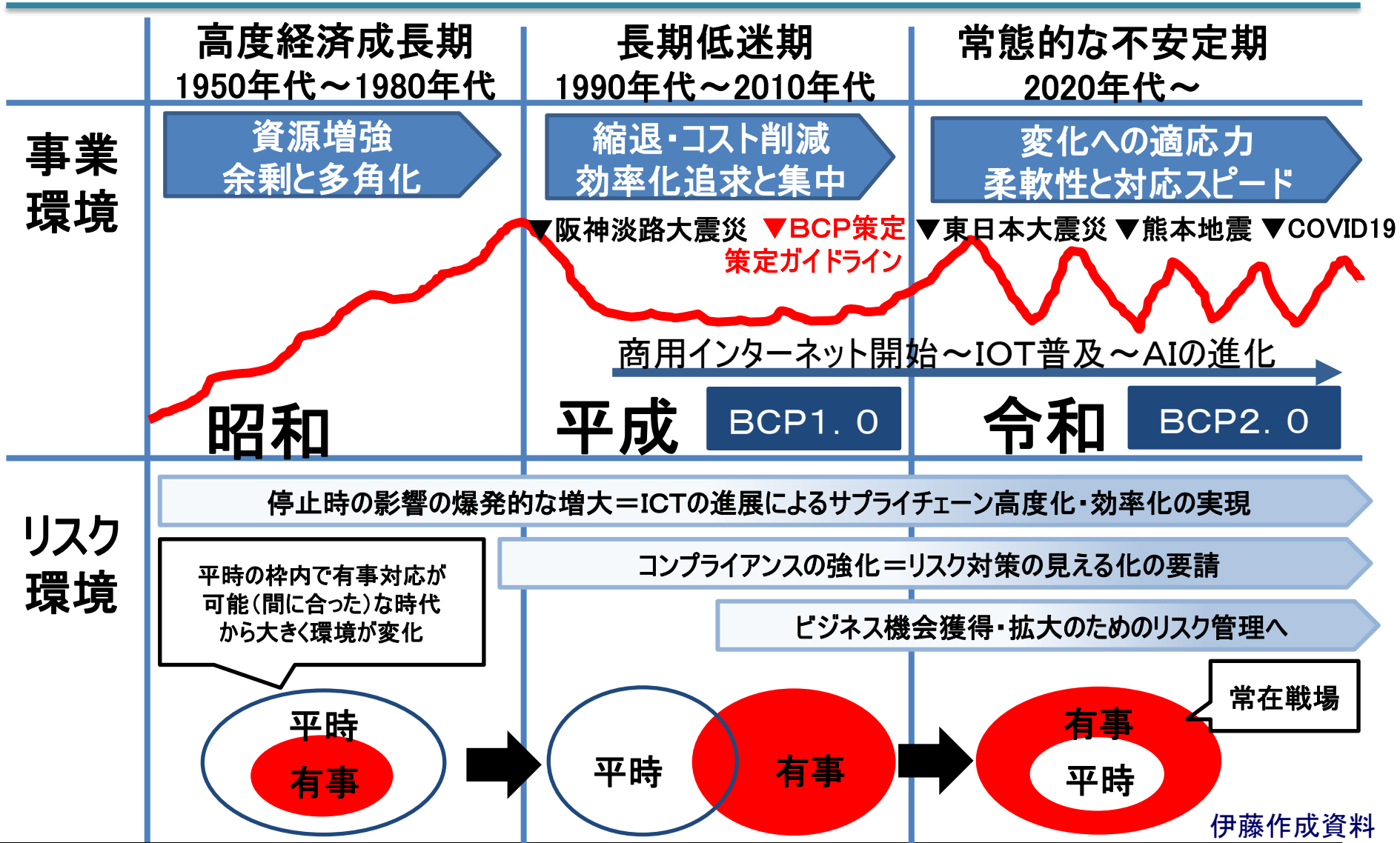


⇒ 納得感の醸成による自律的改善の継続へ

伊藤作成資料

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

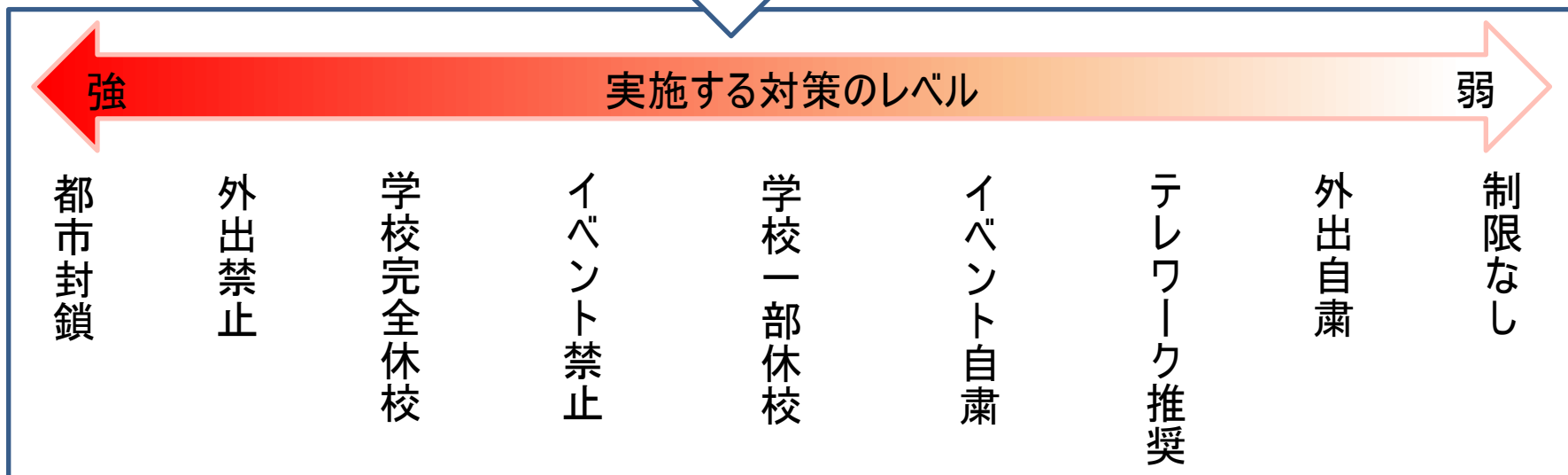
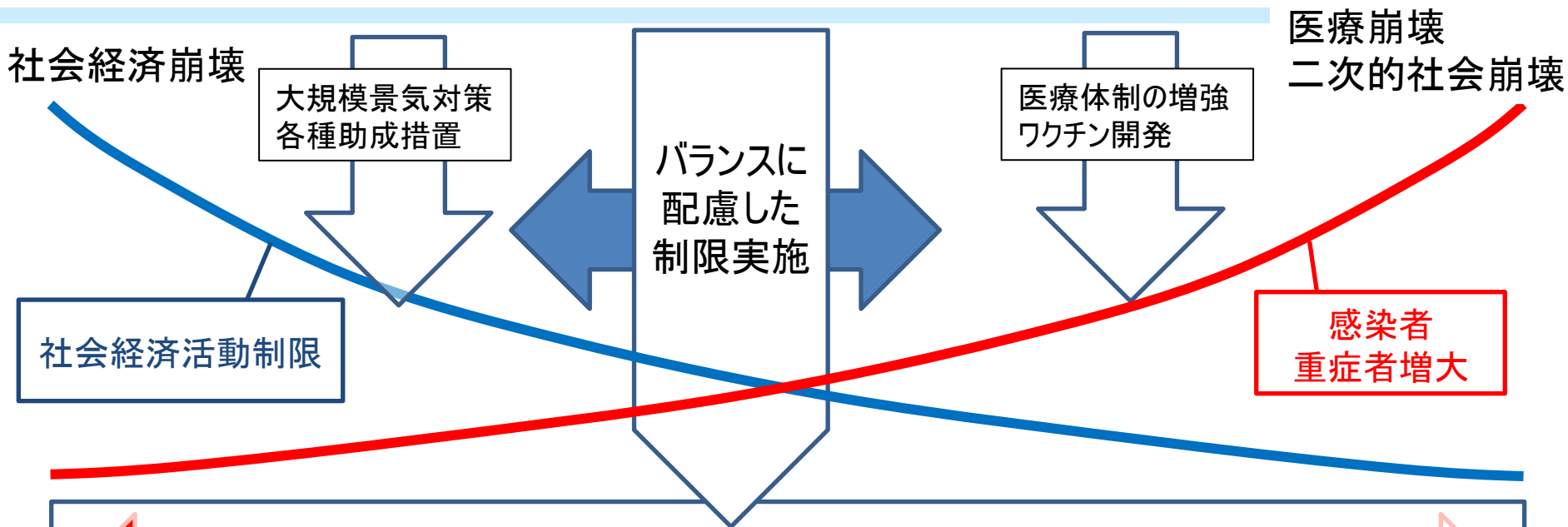
今までとこれから



伊藤作成資料

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

新型コロナウイルス対応とは



京都大学) 山中伸弥教授サイトより一部引用

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

組織的な変容能力の要素

Sensing: 感知

変化する環境下で機会を感知する能力
脅威や機会を感じ取る能力

- 健全な危機感の維持
- 変化の必要性の意識
- 迅速な情報共有文化

Transforming: 変容

新たな競争優位確立のため内外の
資源や組織を迅速に最適化する能力

- 経営資源の外部化
- プロセスの標準化
- DX化の推進

Purpose:
存在意義

Seizing: 捕捉

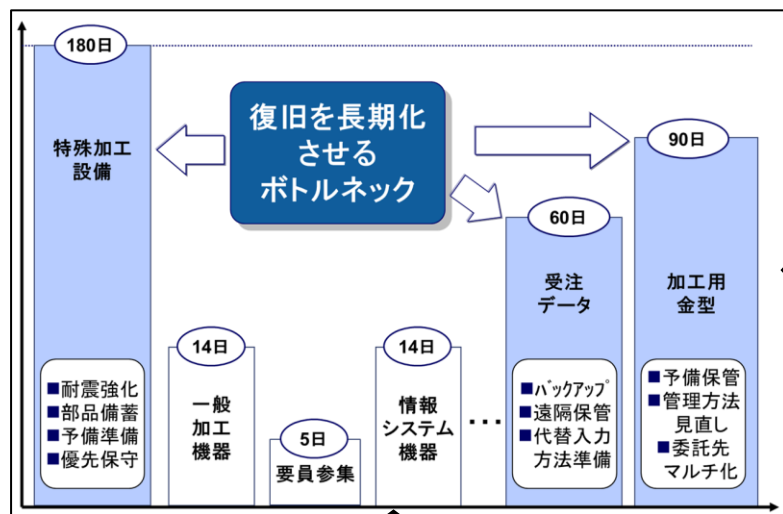
見出した機会を捉え資源・プロセス
・知識を応用して再利用する能力

- 事業機会としての把握
- 自社の強みを活かした
ビジネスモデルデザイン

伊藤作成資料

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

競争力強化につながる視点



短期的な視点【強化・二重化】

- ボトルネックの耐震・免震対策
 - ボトルネックに対する強化対策
 - ボトルネックの二重化対策 等
- 資源を固定化する視点
＝変化を妨げる原因ともなり得る

競争力強化の視点

復旧に長時間を要する特殊な資源や業務プロセス

競争力を支える根幹の資源でなければ変化への適応を妨げる課題

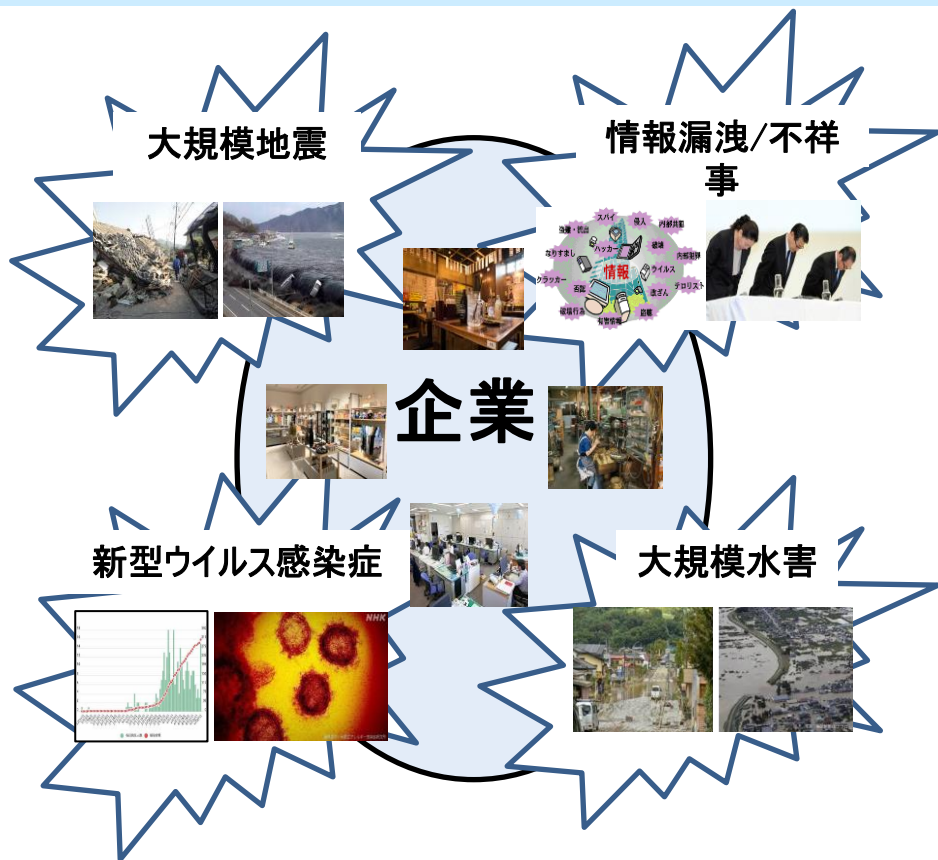
設備及びプロセスの標準化、外部化によりボトルネックを解消

外部環境変化に柔軟に対応可能な組織への変化
＝競争力強化

伊藤作成資料

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

継続的改善の本質



南海トラフ地震発生確率

⇒30年以内に80%以上

首都直下型地震確率

⇒30年以内に70%以上

時間降水量50mm以上の大雨

⇒過去30年間で1.4倍

新型感染症の発生

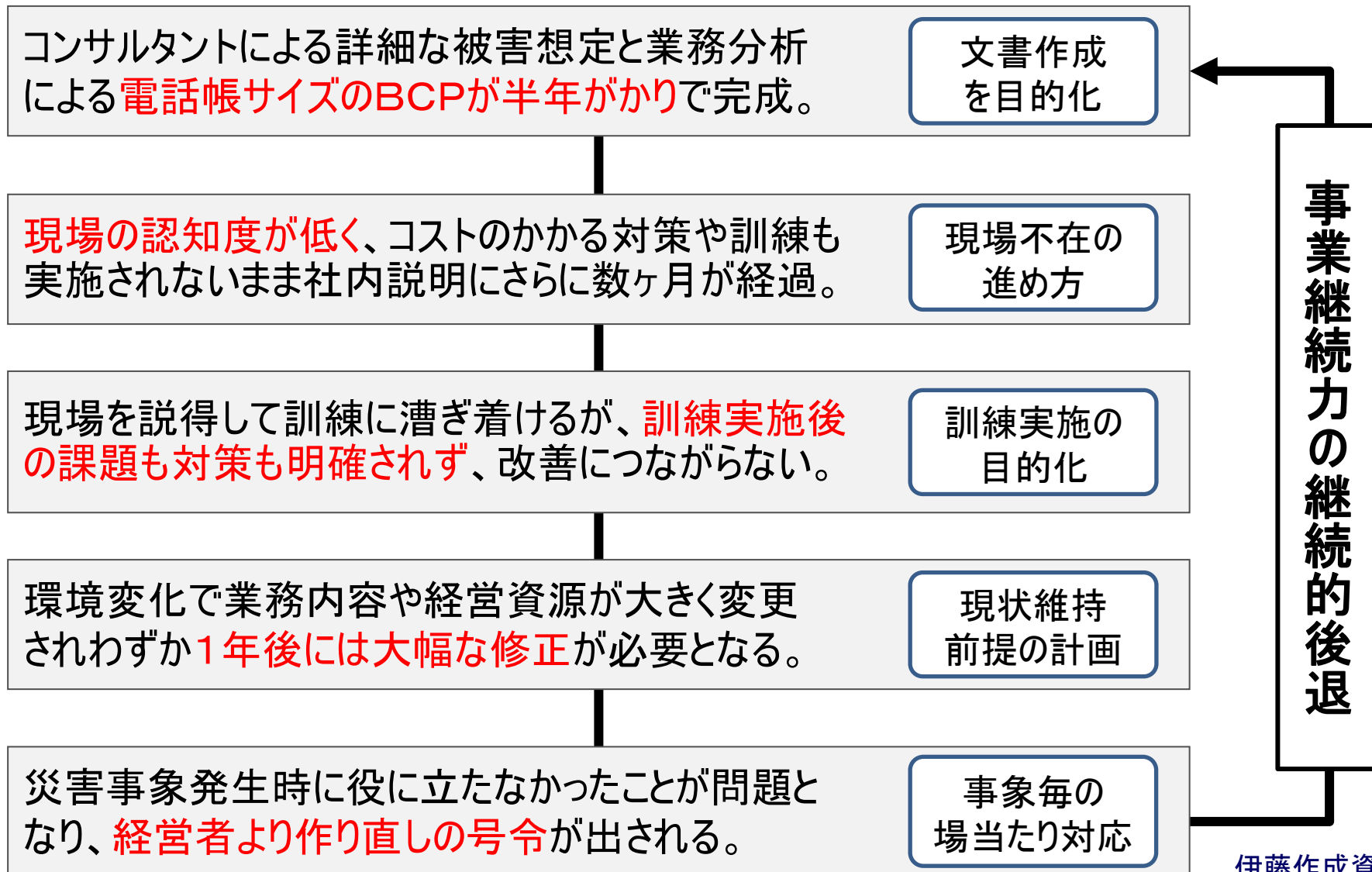
⇒新型インフルエンザ、COVID19

膨大な文書、詳細なルール、人に依存した取り組みは続かない。
環境が変わり、組織が変わり、担当者が変わっても30年間続けられる
取り組みであること。

伊藤作成資料

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

BCの負のスパイラル



講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

20年以上続いている取り組み事例

中小企業A社：製造業従業員30名

- 年に2回全従業員を集め、災害発生時における自社の対応の段取りを皆で話し合いながら模造紙に書き出し事務所に張り出しておく。
- さらに、手順実行を効果的に行うための事前対策を全員で話し合い、対策担当と完了予定を決める。
- 対策完了状況は年度末に社長が確認する。
- 作成した文章は、対応の段取り一覧表（やることリスト）と、解決すべき課題一覧表（やっておくことリスト）、非常時連絡先リストのみ。後は各担当が必要に応じて自分なりのメモ（手順など）を作っている。
- この活動を20年近く続けているが社長はBCPを知らない。

伊藤作成資料

講演者の個人的見解が含まれます。すべてがBCAOの正式見解ではありません。

事業継続力の強化とは

見える化⇒出来る化による対応スピードの向上

出たとこ勝負

発生

人命安全確保

参集・役割分担

情報収集・報告

対応行動指示

復旧・終息

対応時間

見える化

役割分担

行動目標の共有

判断基準

発生

人命安全確保

参集・役割分担

情報収集・報告

対応行動指示

復旧・終息

対応時間

出来る化

役割分担

行動目標の共有

判断基準

訓練による改善

発生

人命安全確保

参集・役割分担

情報収集・報告

対応行動指示

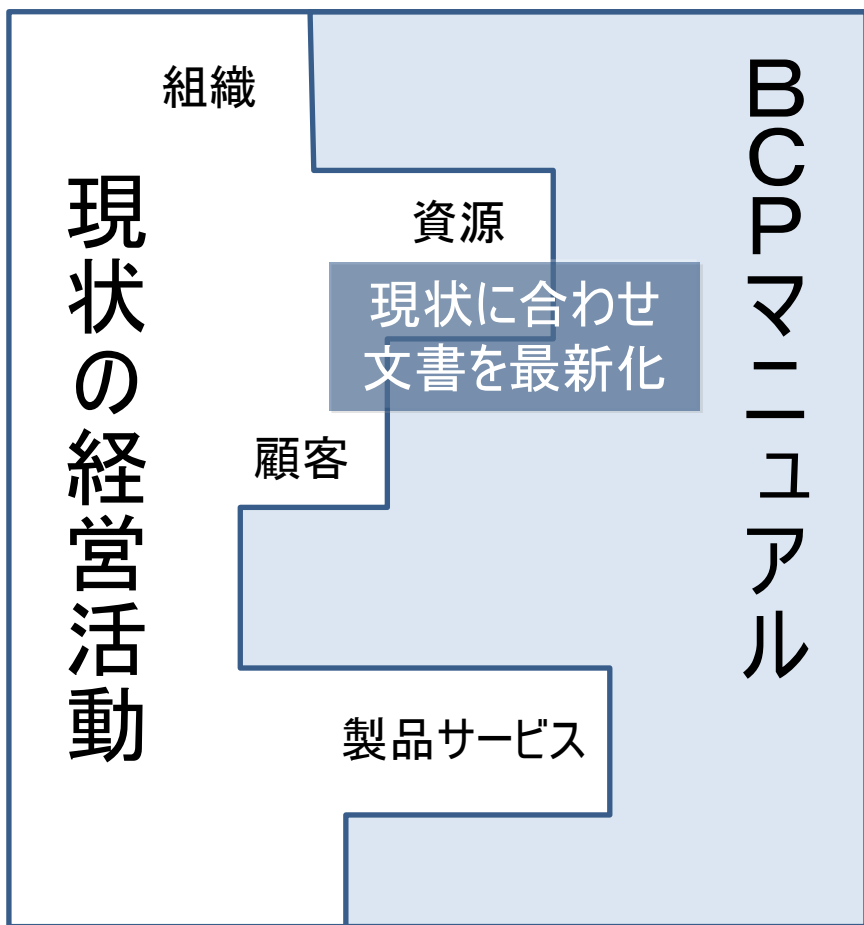
復旧・終息

対応時間

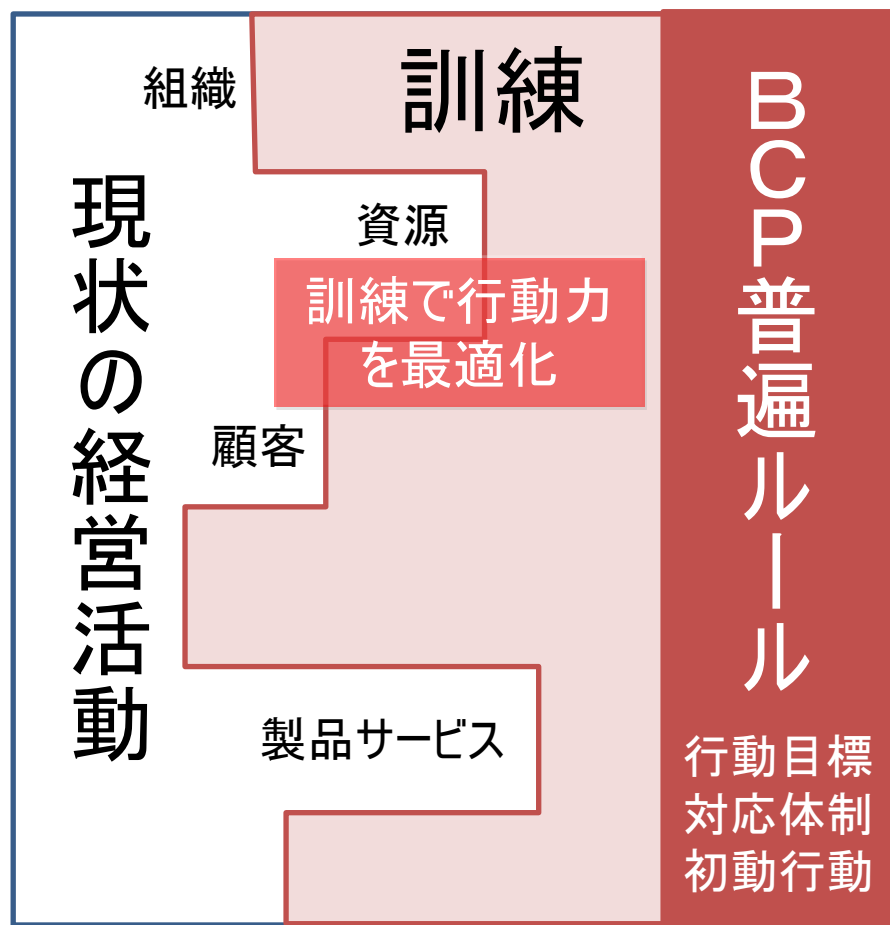
伊藤作成資料

これからの取り組みとは

今まで



これから



伊藤作成資料